

関市って こんなまち



★市のプロフィール

岐阜県関市は、日本のほぼ真ん中に位置し、豊かな山々と清らかな川に恵まれ、文化や産業が息づき、歴史が薫る「刃物のまち」です。古くから東西文化の要衝にあり、京都から飛騨に通じる交通の分岐点として栄えたこの地に関所が置かれたのが「関市」の地名の起こりと言われています。

そして、平成17年2月に洞戸村、板取村、武芸川町、武儀町、上之保村と合併し、今のちょっとかわったV字型の関市が誕生しました。

現在は、東海北陸自動車道と東海環状自動車道の結節点であるという地域の優位性を活かし、中濃圏域の核として産業・観光・文化などに交流・連携し、発展を続けています。

★基本データ

人口：83,008人(R8.2.1 現在)

面積：472.33km²

地域の注目スポット&イベント

板取地域にある、フランスの画家・モネの名画「睡蓮」にそっくりと話題の通称「モネの池」をはじめ、自然が豊かな市内山間部にはインスタ映え抜群の注目スポットや子どもからお年寄りまでみんなが楽しめるイベントがいっぱい！



名もなき池(通称：モネの池)

板取
地域



株杉の森

洞戸
地域



キウイ

武儀
地域

武芸川
地域



寺尾千本桜

